

観測データ・フレーム構成 (SIRIUS 内部形式)

観測データは、下表の形式でSIRIUSデータ・ベース上に格納されている。

0 バイトから 7 バイトはBCD形式、他は1 バイトのバイナリー表示であり、1 フレームは 144 バイトで構成されている。

バイト位置	内 容		
	上位4ビット	下位4ビット	
0	閏年表示	通年日 $10^2$ 桁	閏年表示 0:通常年 1:閏年
1	通年日 $10^1$ 桁	通年日 $10^0$ 桁	
2	時 $10^1$ 桁	時 $10^0$ 桁	
3	分 $10^1$ 桁	分 $10^0$ 桁	BCDデータ 通年日(トータルデー)
4	秒 $10^1$ 桁	秒 $10^0$ 桁	1月1日を1とし、12月
5	ミリ秒 $10^2$ 桁	ミリ秒 $10^1$ 桁	31日を365 または 366
6	ミリ秒 $10^0$ 桁	ミリ秒 $10^{-1}$ 桁	(閏年)とする数
7	ビットレート	データ識別	
8	FI (誤り訂正後の値)		ビットレート表示
9	TI $2^{31} \sim 2^{24}$		0:LOW 1:MID 2:HIGH
10	TI $2^{23} \sim 2^{16}$		
11	TI $2^{15} \sim 2^8$		データ識別
12	TI $2^7 \sim 2^0$		0: UDSC real time data
13	0		1: UDSC play back data
14	S/N比	以下1 フレームのデータ	2: KSC real time data
15			3: KSC play back data
16	W-0		
17	W-1		8: 相模原 real time data
18	W-2		9: 相模原 play back data
.	.		
.	.		
142	W-126		
143	W-127		

\*内部的には、160フレーム/ブロックで構成されている。

\*シリウス付加情報のFI, TI COUNTERは誤り訂正を行ったものが格納されている。